

主な機能一覧

	F	A	L	S	D
ベーステクノロジー					
Parasolidモデリングカーネル	●	●	●	●	●
高速な描画テクノロジー (VGM)	●	●	●	●	●
Cinewareレンダリングエンジン	●	●	●	●	●
2D/3D基本機能					
線と面の2D汎用作図編集	●	●	●	●	●
図形への透過/影表現	●	●	●	●	●
2D/3D対応の文字・寸法作図	●	●	●	●	●
スナップルーペ・X線選択モード	●	●	●	●	●
スマートオプションディスプレイとクリック検索	●	●	●	●	●
オペスクーリング・ピュコントロール	●	●	●	●	●
イメージのクロップ/圧縮	●	●	●	●	●
データベース/ワークシート	●	●	●	●	●
シートレイヤ・ビューポート	●	●	●	●	●
デザインレイヤ・ビューポート	-	●	●	●	●
ビューポートスタイル	●	●	●	●	●
オーガナイザ (図面構造の集中管理)	●	●	●	●	●
リソースマネージャ (リソースの総合管理)	●	●	●	●	●
名前の一括変換	●	●	●	●	●
ハイブリッドシンボル/2Dコンポーネント	●	●	●	●	●
フローティングデータバー	●	●	●	●	●
ウインドウタブ/タブレットの切り離し	●	●	●	●	●
2D→3Dへのプッシュ/プレモード	●	●	●	●	●
多彩で強力な3Dモデリング/編集	●	●	●	●	●
統合ビュー	●	●	●	●	●
クリップキュープ (3Dモデルのリアルタイム切断)	●	●	●	●	●
2D/3D対応のワーキングフレーム	●	●	●	●	●
協働設計支援 (プロジェクト共有)	-	●	●	●	●
クラウド連携・リモート	●	●	●	●	●
DXF/DWG取り込み・取り出し	●	●	●	●	●
PDF (2D)取り込み・取り出し	●	●	●	●	●
PDF (3D)取り出し	-	●	●	●	●
Excel参照・取り込み・取り出し	●	●	●	●	●
パブリッシュ (DXF/DWG/DWF/Excel)	●	●	●	●	●
パブリッシュ (PDF/印刷/イメージ)	-	●	●	●	●
3Dレンダリング	●	●	●	●	●
バックグラウンドレンダリング	●	●	●	●	●

ファイル互換一覧

	F	A	L	S	D
取り込み					
DXF・DWG (R2.5~2026)/DWF (4.2・5.5・6.0)/3D DWF (6.01)/DWFX (6.02)/イメージファイル (BMP・GIF・JPEG・PNG・TIFF・ICO [Windowsのみ: WDP・DDS・EMF] / [Macのみ: SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・PBM・PGM・PPM・HDR・PCT・JP2]) / PDF / ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX) / スクリプト (TXT・VSS・PS・PY・PYC・XXT・MPC) / IGES (IGS・OBJ) / SAT / STEP (STP・STEP) / STL / Rhino 3DM (1~7) / Parasolid X_T (9~37) / Cinema 4Dテクスチャ (R13~2026) / USD (usd/usda/usdc/usd) / mtextureテクスチャ / Arrowayテクスチャ / HDR (HDR・EXR・JPEG・PNG) / Distributionファイル (IES) / MCD (7~12) / VWX (2008~2025) / Mosa Pattern / シンボル (DXF・DWG・IGES・OBJ・SAT・STEP・STL・Rhino 3DM・Parasolid X_T) / Jw_cad (JWW・JWS)	●	●	●	●	●
IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4) / Revit 2011~2026 (RVT・RFA) / 3DS / SketchUp (SKP 4~2025) / 群 (LAZ・LAS・PTS・E57・XYZ・PLY) / PartSpec (DXF・DWG・SAT・IGS) / 階接マトリックス (TXT・CSV) / BCF・BCFZIP / ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD・ECW) / シンボル (3DS・SKP)	-	●	●	●	●
Shape (SHP) / 座標データ (TXT・CSV)	-	●	●	-	●
照明器具情報 (Lightwright 5~6) / MVR (1.6) / GDTF (1.2)	-	-	-	-	●
参照					
DXF・DWG (R2.5~2026) / DWF (4.2・5.5・6.0) / ワークシート (XLS・XLSX) / VWX (2026 [レイヤ参照])	●	●	●	●	●
イメージファイル (BMP・GIF・JPEG・PNG・TIFF・ICO [Windowsのみ: DDS] / [Macのみ: SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・PBM・PGM・PPM・HDR・JP2] / PDF / IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4) / Revit 2011~2026 (RVT・RFA) / VWX (2026 [デザインレイヤビューポート])	-	●	●	●	●
取り出し					
DXF・DWG (R12~2026) / DWF (4.2・5.5・6.0) / 3D DWF (6.01) / DWFX (6.02) / EPSF (3.1) / イメージファイル (BMP・GIF・JPEG・PNG・TIFF・HEIF [Windowsのみ: WDP・DDS・EMF] / [Macのみ: JP2・TGA・EXR・PSD・KTX・ASTC・PBM]) / PDF (1.7) / PDF-A-1b (1.4) / PDF-A-2b (1.7) / PDF-A-2u (1.7) / PDF-A-3b (1.7) / PDF-A-3u (1.7) / PDF-A-4 (2.0) / PDF-A-4e (2.0) / スクリプト (TXT・PY・VSS・VS) / ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX) / データベース (TXT・CSV・DIF・SLK) / Cinema 4D (2025) / USD (usd/usda/usdc) / COLLADA (DAE) / FBX / IGES (IGS・IGES 5.3) / SAT / STEP (STP・STEP) / STL / Rhino 3DM / Parasolid X_T (9~37) / Strata Vision / HDR (HDR・EXR・JPEG・PNG) / Distribution (IES) / MCD (7~12) / VWX (2021~2025) / Unreal Datasmith (4.27) / Jw_cad (JWW)	●	●	●	●	●
IFC・IFCXML・IFCZIP (2x3・4) / Revit 2021~2026 (RVT・RFA) / 地理空間情報 (KML) / 3DS / 3D PDF / ジオリファレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD・ECW) / BCF (v2.1・v3.0) / BCFZIP (v2.0)	-	●	●	●	●
Shape (SHP)	-	●	●	-	●
ASCIIテキスト (3.0) / 照明器具情報 (Lightwright 5~6) / ESC (Vision 4~Vision 2026) / MVR (1.6)	-	-	-	-	●

※記載されている情報は2025年11月現在のものです。最新の情報は弊社Webサイトをご覧ください。

スタンダードアロン版

	Fundamentals	Architect	Landmark	Spotlight	Design Suite
永続ライセンス	価格 393,800円(税込) 型番 124291	523,600円(税込) 124292	523,600円(税込) 124293	523,600円(税込) 124294	676,500円(税込) 124295
年間サブスクリプションライセンス ^{※1}	価格 132,000円(税込) 型番 SUBF31Y	198,000円(税込) SUBA31Y	198,000円(税込) SUBL31Y	198,000円(税込) SUBS31Y	264,000円(税込) SUBD31Y
月間サブスクリプションライセンス ^{※2}	価格 13,200円(税込) 型番	19,800円(税込) ARCR31	19,800円(税込) LRCR31	19,800円(税込) SRCR31	26,400円(税込)

追加モジュール

	F → Design Suite	A → Design Suite	L → Design Suite	S → Design Suite
永続ライセンス (Design Suite モジュール 2026)	価格 282,700円(税込) 型番 VRCR31	152,900円(税込) ARCR31	152,900円(税込) LRCR31	152,900円(税込) SRCR31
F → Architect	F → Landmark	F → Spotlight		
永続ライセンス (Fundamentals 2026への追加用)	価格 129,800円(税込) 型番 VRAR31	129,800円(税込) VRLR31	129,800円(税込) VRSR31	

Vectorworks評価版 <https://customers.vectorworks.net/trial?lang=ja>

Vectorworks推奨動作環境 <https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/vw2026.html>

2026.01

ベクターワークスジャパン株式会社

<https://www.vectorworks.net>

営業部

email (一般の方) : market@vectorworks.co.jp

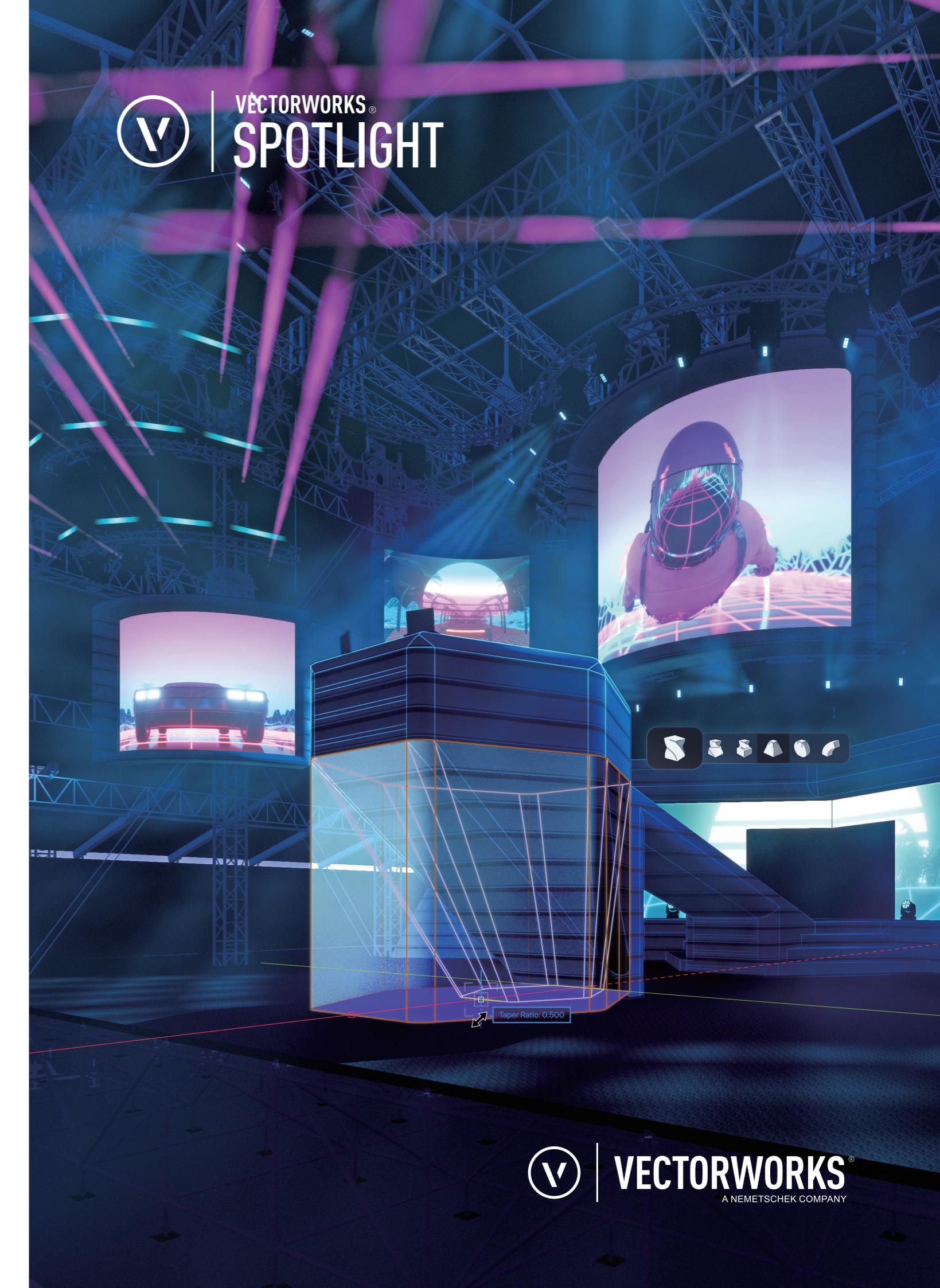
email (販売店) : aa_sl-team@vectorworks.co.jp

Vectorworks Japan Store

<https://store.vectorworks.co.jp>

Vectorworks、Renderworks、BraceworksとConnectCADはVectorworks, Inc.の登録商標です。SmartCursorとVectorScriptはVectorworks, Inc.の商標です。VisionはVectorworks, Inc.の製品です。すべての権利はVectorworks, Inc.が保有しています。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、macOSは、米国およびその他の国におけるApple Inc.の商標です。その他登録されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Design Suiteを使用し、一部、画像処理を行っているもの含まれています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。

Vectorworks Japan Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 261219 AI



VECTORWORKS®
A NEMETSCHKE COMPANY

SPOTLIGHT



Vectorworks Spotlightは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ（テクスチャマッピング/レンダリング等）機能に加え、ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能、さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンターテインメント業界向け製品です。



01 イベント空間のプランニング

大きさにかかわらずイベント空間全体のプランニングをする上で必要な機能が揃っています。ソフトグッズツールでは一文字幕やホリゾント幕、開閉する位置や幅を指定して引割幕も表現できます。座席セクションレイアウトツールでは、配置する座席の範囲や種類などを設定でき、設定した範囲や通路に合うよう自動的に座席が配置、調整されます。また、イベント空間のゾーンを区切るためのメタルフェンスや防護柵などのライブラリも豊富に取り揃えており、野外フェスのイメージパースの作成時にも活用できます。（座席セクションレイアウトは、Architectでも利用可能）

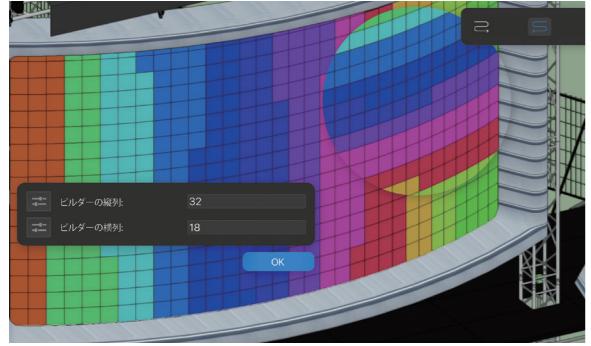
F A L S D



03 動画再生にも対応したさまざまなスクリーン

ビデオスクリーンやスクリーンセットツールを使用することで、アスペクト比やサイズを指定したスクリーンが作成できます。また、スクリーンには静止画だけでなく、Showcaseの機能と連携することで動画再生が可能となり、ステージ表現の幅が大きく広がります。バージョン2026で新たに搭載されたLEDウォールツールでは、直線の基本的なウォールから複雑な曲線や3次元形状まで、あらゆる角度でLEDウォールを設計・プランニングできます。

F A L S D



02 ステージデザイン計画機能

野外コンサートやイベントホールで使うさまざまなステージを表現できます。高さ、幅、奥行きを設定したユニットの組み合わせによるシンプルなステージを簡単に作成できるポータブルステージツールと、自由な形状を一から作図してステージを作り上げるカスタムポータブルステージツールの2種類があり、使い分けることでさまざまなステージを作成することができます。また、大型機材を運び入れるためのスロープやステージに上がるための階段なども、ツールを用いて素早く2D、3D同時に作成することができます。

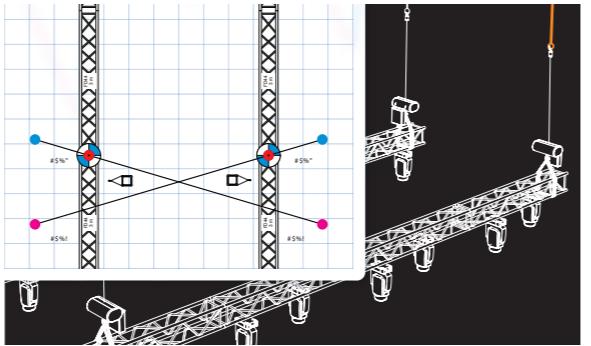
F A L S D



04 専用ツールによる劇場のプランニング

劇場のステージの上部にある照明や舞台美術など、さまざまな役割を持つパトンを、サイズなどの数値や役割を設定しながら作成できます。ストレートパトンのほか、コの字型や円弧のコーナーパトン、ラダー形状のパトンも作成が可能です。また、天井吊り点や構造材から吊り下げるリギングをホイストで連結することができます。バージョン2026ではブライダルにスタイルを適用することが可能となり、より詳細な制御と効率性が向上します。

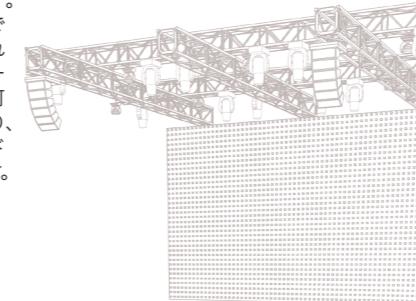
F A L S D



05 複雑なデザインが可能な吊り元作成

TOMCAT、Eurotruss、西尾レントオールなど国内外で使われているトラスメーカーのシンボルオブジェクトを搭載。トラスツールでは、一覧から選択して任意の箇所でワンクリックするだけで精确に複雑なデザインのトラスを組むことができます。また、トラスの連続配置や各コーナートラスの挿入方向をすばやく変更することができ、3Dビューでも直感的なデザインが可能です。バージョン2026では、新たに搭載されたサイドアームツールとカスタマイズ可能なクランプにより、設計精度とスピードがさらに向上します。

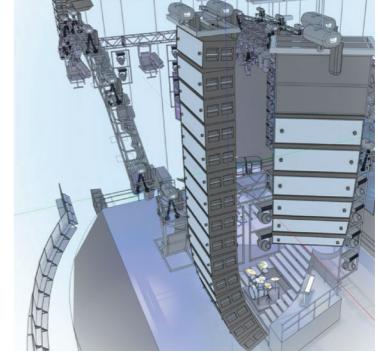
F A L S D



06 音響計画支援機能

Yamaha、L-Acoustic、Meyer Soundなど国内外で使われているスピーカーメーカーのシンボルオブジェクトを1,000種類以上搭載。ライブ会場などに設置するスピーカーアレイの表現も可能で、メーカー製のスピーカーやフレームを指定でき、設置方法もフライングだけでなくグランドや三脚が選択できます。また、コンサートでは必要不可欠となるピアノ、オーケストラ楽器をはじめ、ライブで使用するドラムセットや、音響の制御卓などのライブラリも豊富に収録しています。

F A L S D



07 豊富な照明機材と自由自在な照明計画

国内メーカーをはじめ世界中で使われている4,000種類以上の照明機材を搭載。機材名・ワット数・重量・照射角度があらかじめ設定され、吊り位置・アドレス・カラー番号情報なども自由に追加できます。Lighting Deviceツールを使用することで、複数の照明機材を一度の操作で均等配置でき、機材の入れ替えや変更も可能なため作業を大幅に効率化します。仕込図に必要な情報はラベル機能で表示/非表示が設定でき、DMXパッチコマンドでUniverseやChannelの割り当てや競合チェックができます。

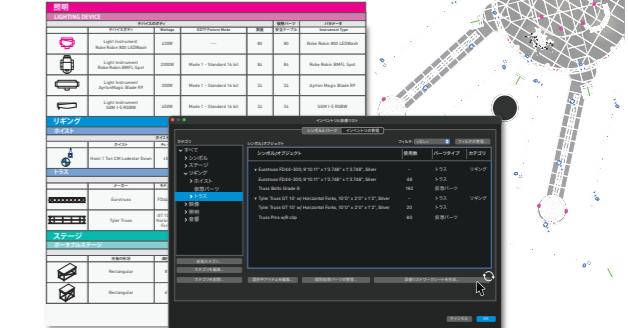
F A L S D



08 データと連動した図面作成とデータベース

Spotlightに搭載された各種ツールは2D、3Dのハイブリッドで作図されるため、投影図ビューポートを使用することで平面図や立面図を一度に作成することができます。モデルの修正や変更も即座に図面に反映します。また、インベントリと設備リストの機能を使用することで、ファイル内のすべてのSpotlightオブジェクトを簡潔または詳細なレポートに統合できます。仮想パーティや描画していないアイテムもレポートに追加することができます。照明、音響、大道具など、業種を問わず活用できます。（投影図ビューポートは、Architect、Landmarkでも利用可能）

F A L S D



09 Showcase (プリビュアライゼーション)

リアルタイムのプリビュアライゼーションがVectorworks内で直接利用できるようになりました。照明機材の直感的なコントロールが可能になりました。アプリケーションを離れることなくショーのテストランが行えます。バージョン2026では、スマートの表現が強化され、より現実的でダイナミックな演出が可能です。また、新たなShowcaseパレットを使用することで、ネットワークの接続状態を常に確認でき、Showcaseの開始や停止もスムーズに行えるようになりました。

F A L S D



10 ビュアライザーとの連携

Vectorworksで作成した3DモデルをDXF、C4D、3DSなどに変換でき、業界で使われている各種ビュアライザーで利用可能です。また、業界最先端の共通ファイルフォーマットMVRをサポートしているため、さまざまなビュアライザーとgrandMA3などのコンソールとデータ互換ができます。各照明機材に適用したGDTFファイルは、作図中やMVRへの変換時など、常に最新データへ更新することができます。高い互換性を維持します。

F A L S D



PUBG | Courtesy of Live Legends